

注3

大学番号：私160

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

金城大学 社会福祉学部 子ども福祉学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人金城学園  
平成30年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 法人本部企画室

職名・氏名 課長補佐・坂 <sup>サカ</sup> <sup>グチ</sup> <sup>ケン</sup> <sup>シ</sup>  
口 憲 二

電話番号 076-276-6630

（夜間） 076-276-6630

F A X 076-275-6651

e-mail hops@kinjo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

<b>1</b>	<b>調査対象大学等の概要等</b>	<b>1</b>
	(1) 設置者	1
	(2) 大学名	1
	(3) 大学の位置	1
	(4) 管理運営組織	1
	(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等	2
<b>2</b>	<b>授業科目の概要</b>	<b>5</b>
	(1) 授業科目表	5
	(2) 授業科目数	8
	(3) 未開講科目	9
	(4) 廃止科目	9
	(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」 及び「学生への周知方法」	9
	(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する 「未開講科目と廃止科目の計」の割合	9
<b>3</b>	<b>施設・設備の整備状況, 経費</b>	<b>10</b>
<b>4</b>	<b>既設大学等の状況</b>	<b>11</b>
<b>5</b>	<b>教員組織の状況</b>	<b>13</b>
	(1) 担当教員表	13
	(2) 専任教員数等	20
	(3) 専任教員辞任等の理由	21
	(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	22
<b>6</b>	<b>留意事項等に対する履行状況等</b>	<b>23</b>
<b>7</b>	<b>その他全般的事項</b>	<b>24</b>
	(1) 設置計画変更事項等	24
	(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)	24
	(3) 自己点検・評価等に関する事項	26
	(4) 情報公表に関する事項	26
	添付資料1	27
	添付資料2	33
	添付資料3	34

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人金城学園

## (2) 大学名

金城大学

## (3) 大学の位置

〒924-8511

石川県白山市笠間町1200番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ シンイチ) 加藤 真一 (平成25年7月)		
学長	(ハンヤ シズオ) 半谷 静雄 (平成26年4月)	(マエシマ シンイチロウ) 前島 伸一郎 (平成30年4月)	学長任期満了に伴い、平成30年4月1日付けで変更したため(30)
学部長	(コバヤシ チエコ) 小林 千恵子 (平成29年4月)		
学科長等	—		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
社会福祉学部 子ども福祉学科 学士(子ども福祉学)	社会学・社会福祉学関係 教育学・保育学関係	4年	70人	年次 人 3年次 5	290人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	70人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.00倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	121 ( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	117 ( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	96 ( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	70 ( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	-		-		-		1.00倍			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	70 [ 0 ] ( 0 )	— [ — ] ( — )	
2年次	/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	
3年次	/		/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	
4年次	/		/		/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	
計	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	70 [ 0 ] ( 0 )	— [ — ] ( — )	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	70 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	70 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{70} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<社会福祉学部 子ども福祉学科>

(1) -① 授業科目表

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	スポーツ	1前	1			1						
	スポーツ理論	1後	2								1	
	レクリエーション活動Ⅰ	3前		1							1	
	レクリエーション活動Ⅱ	3後		1							1	
	英語Ⅰ	1前	1								2	
	英語Ⅱ	1後	1								2	
	英語Ⅲ	2前	1								2	
	英語Ⅳ	2後		1							1	
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2前		1							1	
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2後		1							1	
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2前		1							1	
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	2後		1							1	
	言葉と文化(英語)Ⅲ	3前		1							1	
	言葉と文化(英語)Ⅳ	3後		1							1	
	言葉と文化(中国語)Ⅲ	3前		1							1	
	言葉と文化(中国語)Ⅳ	3後		1							1	
	学習方法演習Ⅰ	1前	1				1		2			
	学習方法演習Ⅱ	1後	1				1		2			
	基礎演習Ⅰ	2前	1				1		2			
	基礎演習Ⅱ	2後	1				1		2			
情報処理演習Ⅰ	1後		1								1	
情報処理演習Ⅱ	2前		1								1	
小計(22科目)	—	—	10	13	0	1	1	0	2	0	7	
主題科目	ボランティア入門	1前	2								1	
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1		2			1			
	ボランティア活動Ⅱ	2通		1		2			1			
	健康科学	3前		2							1	
	生命科学	3後		2							1	
	自然科学	3後		2							1	
	美術	1前		1			1					
	日本文学Ⅰ	3後		2							1	
	日本文学Ⅱ	4後		2							1	
	自然地理	4前		2							1	
	地誌	4後		2							1	
	白山市の自然と文化	3前		2							1	
	日本史Ⅰ	3後		2							1	
	日本史Ⅱ	3後		2							1	
	日本語表現	1後		2							1	
	文書処理演習	1前		1							1	
	哲学	3前		2							1	
	宗教学	3後		2							1	
	東洋史	4後		2							1	
	西洋史	4前		2							1	
	人文地理	3前		2							1	
	器楽Ⅰ	1後		1		1			1			3
	器楽Ⅱ	2前		1		1			1			3
	器楽Ⅲ	2後		1		1			1			3
	器楽Ⅳ	3前		1		1			1			3
	音楽	1前		1		1						
図画工作Ⅰ	1後		1			1						
図画工作Ⅱ	3前		1			1						
幼児体育Ⅰ	1後		1		1							
幼児体育Ⅱ	2前		1		1							
子どもと文化	3後		1								1	
子どもと生活	1後		2		1							
法学(憲法)Ⅰ	3前		2						1			
法学Ⅱ	3後		2						1			
政治学	4前		2								1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	スポーツ	1前	1			1						
	スポーツ理論	1後	2									1
	レクリエーション活動Ⅰ	3前		1								1
	レクリエーション活動Ⅱ	3後		1								1
	英語Ⅰ	1前	1									2
	英語Ⅱ	1後	1									2
	英語Ⅲ	2前	1									2
	英語Ⅳ	2後		1								1
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2前		1								1
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2後		1								1
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2前		1								1
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	2後		1								1
	言葉と文化(英語)Ⅲ	3前		1								1
	言葉と文化(英語)Ⅳ	3後		1								1
	言葉と文化(中国語)Ⅲ	3前		1								1
	言葉と文化(中国語)Ⅳ	3後		1								1
	学習方法演習Ⅰ	1前	1						1		3	
	学習方法演習Ⅱ	1後	1						1		3	
	基礎演習Ⅰ	2前	1						1		3	
	基礎演習Ⅱ	2後	1						1		3	
情報処理演習Ⅰ	1後		1								1	
情報処理演習Ⅱ	2前		1								1	
小計(22科目)	—	—	10	13	0	1	1	0	3	3	0	7
主題科目	ボランティア入門	1前	2									1
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1		2				1		
	ボランティア活動Ⅱ	2通		1		2				1		
	健康科学	3前		2								1
	生命科学	3後		2								1
	自然科学	3後		2								1
	美術	1前		1			1					
	日本文学Ⅰ	3後		2								1
	日本文学Ⅱ	4後		2								1
	自然地理	4前		2								1
	地誌	4後		2								1
	白山市の自然と文化	3前		2								1
	日本史Ⅰ	3後		2								1
	日本史Ⅱ	3後		2								1
	日本語表現	1後		2								1
	文書処理演習	1前		1								1
	哲学	3前		2								1
	宗教学	3後		2								1
	東洋史	4後		2								1
	西洋史	4前		2								1
	人文地理	3前		2								1
	器楽Ⅰ	1後	1			1					1	3
	器楽Ⅱ	2前	1			1					1	3
	器楽Ⅲ	2後	1			1					1	3
	器楽Ⅳ	3前		1		1					1	3
	音楽	1前		1		1						
図画工作Ⅰ	1後		1					1				
図画工作Ⅱ	3前		1					1				
幼児体育Ⅰ	1後		1		1							
幼児体育Ⅱ	2前		1		1							
子どもと文化	3後		1					1			0	
子どもと生活	1後		2		1							
法学(憲法)Ⅰ	3前		2							1		
法学Ⅱ	3後		2							1		
政治学	4前		2								1	

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
主題科目	経済学Ⅰ	3後		2							1
	経済学Ⅱ	4前		2							1
	統計学	4前		2							1
	教養ゼミⅠ	1前		1							1
	教養ゼミⅡ	1後		1							1
	教養ゼミⅢ	2前		1							1
小計(41科目)	—	2	63	0	3	1	0	2	0	0	21
専門基本科目	社会福祉概論Ⅰ	1前	2								1
	社会福祉概論Ⅱ	1後	2								1
	高齢者福祉論	3後	2								1
	障害者福祉論	2後	2								1
	児童・家庭福祉論	1後	2								1
	介護福祉論Ⅰ	3前	2								1
	社会福祉史	4後	2								1
	介護福祉論Ⅱ	3後	2								1
	心理学Ⅰ	1前	2								1
	心理学Ⅱ	1後	2								1
	社会学	1前	2								1
	社会保障論Ⅰ	3前	2					1			
	社会保障論Ⅱ	3後	2					1			
	公的扶助論	3前	2					1			
	地域福祉論Ⅰ	3前	2								1
	地域福祉論Ⅱ	3後	2								1
	社会福祉施設経営論	2後	2								1
	社会調査	3前	2								1
	福祉行財政と福祉計画	4後	2								1
	医療福祉論	3後	2								1
	就労支援	4前	1								1
	権利擁護と成年後見	4前	2						1		
	更生保護	4前	1								1
小計(23科目)	—	12	32	0	0	0	0	1	0	0	10
専門展開科目	ソーシャルワーク論Ⅰ	1前	2		1						
	ソーシャルワーク論Ⅱ	1後	2		1						
	ソーシャルワーク論Ⅲ	2前	2								1
	ソーシャルワーク論Ⅳ	2後	2								1
	ソーシャルワーク論Ⅴ	3前	2								1
	ソーシャルワーク論Ⅵ	3後	2								1
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2後	1		2						2
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	3前	1		1						2
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3後	1		1						1
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	4前	1		1						1
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4後	1		1						1
	相談援助	4前	1		1						
	家庭支援論	2前	2		1						
	保育者論	2前	2								1
	幼児教育者論	1後	2			1					
	幼児教育原理	1前	2			1					1
	保育内容総論	1前	1								1
	保育課程論	1前	2			1					
	保育方法論	3前	2								1
	保育原理Ⅰ	1前	2				1				
	保育原理Ⅱ	1後	2				1				
	社会的養護	1前	2								1
	社会的養護内容	2後	1								1
	発達心理学Ⅰ	2前	2								1
	発達心理学Ⅱ	2後	2								1
	保育の心理学	3後	1				1				
	幼児教育心理学	2前	2						1		
	臨床心理学Ⅰ	3前	2								1
	臨床心理学Ⅱ	3後	2								1
	人格心理学	3後	2								1
	カウンセリングⅠ	3後	2								1
	カウンセリングⅡ	3後	2								1
	幼児理解と教育相談	3前	2								1
保育相談支援	3前	1						1		0	
医学一般	2前	2								1	
リハビリテーション論	3前	2								1	
公衆衛生学	4前	2								1	
生理学	4前	2								1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
主題科目	経済学Ⅰ	3後		2							1
	経済学Ⅱ	4前		2							1
	統計学	4前		2							1
	教養ゼミⅠ	1前		1							1
	教養ゼミⅡ	1後		1							1
	教養ゼミⅢ	2前		1							1
小計(41科目)	—	5	60	0	3	2	0	2	0	0	21
専門基本科目	社会福祉概論Ⅰ	1前	2								1
	社会福祉概論Ⅱ	1後	2								1
	高齢者福祉論	3後	2								1
	障害者福祉論	2後	2								1
	児童・家庭福祉論	1後	2								1
	介護福祉論Ⅰ	3前	2								1
	社会福祉史	4後	2								1
	介護福祉論Ⅱ	3後	2								1
	心理学Ⅰ	1前	2								1
	心理学Ⅱ	1後	2								1
	社会学	1前	2								1
	社会保障論Ⅰ	3前	2						1		
	社会保障論Ⅱ	3後	2						1		
	公的扶助論	3前	2						1		
	地域福祉論Ⅰ	3前	2								1
	地域福祉論Ⅱ	3後	2								1
	社会福祉施設経営論	2後	2								1
	社会調査	3前	2								1
	福祉行財政と福祉計画	4後	2								1
	医療福祉論	3後	2								1
	就労支援	4前	1								1
	権利擁護と成年後見	4前	2							1	
	更生保護	4前	1								1
小計(23科目)	—	12	32	0	0	0	0	0	1	0	10
専門展開科目	ソーシャルワーク論Ⅰ	1前	2		1						
	ソーシャルワーク論Ⅱ	1後	2		1						
	ソーシャルワーク論Ⅲ	2前	2								1
	ソーシャルワーク論Ⅳ	2後	2								1
	ソーシャルワーク論Ⅴ	3前	2								1
	ソーシャルワーク論Ⅵ	3後	2								1
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2後	1		2						2
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	3前	1		1						2
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3後	1		1						1
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	4前	1		1						1
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4後	1		1						1
	相談援助	4前	1		1						
	家庭支援論	2前	2		1						
	保育者論	2前	2								1
	幼児教育者論	1前	2			1					
	幼児教育原理	1前	2			1					1
	保育内容総論	1前	1								1
	保育課程論	1前	2			1					
	保育方法論	3前	2						1		0
	保育原理Ⅰ	1前	2				1				
	保育原理Ⅱ	1後	2				1				
	社会的養護	1前	2								1
	社会的養護内容	2後	1								1
	発達心理学Ⅰ	2前	2								1
	発達心理学Ⅱ	2後	2								1
	保育の心理学	3後	1				1				
	幼児教育心理学	2前	2						1		
	臨床心理学Ⅰ	3前	2								1
	臨床心理学Ⅱ	3後	2								1
	人格心理学	3後	2								1
	カウンセリングⅠ	3後	2								1
	カウンセリングⅡ	3後	2								1
	幼児理解と教育相談	3前	2								1
保育相談支援	3前	1						1		0	
医学一般	2前	2								1	
リハビリテーション論	3前	2								1	
公衆衛生学	4前	2								1	
生理学	4前	2								1	



【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門展開科目	母子保健	2後		2						1	
	子どもの保健Ⅰ	1後		2						1	
	子どもの保健Ⅱ	2前		1						1	
	障害児保育	2前		2						1	
	障害児保育演習Ⅰ	2前		1						1	
	障害児保育演習Ⅱ	2後		1						1	
	生活支援技術Ⅰ	3前		2						1	
	手話	4前		1						1	
	点字	4前		1						1	
	保育内容（健康の指導Ⅰ）	2前		1						1	
	保育内容（健康の指導Ⅱ）	2後		1						1	
	保育内容（言葉の指導Ⅰ）	1前		1				1			
	保育内容（言葉の指導Ⅱ）	1後		1				1			
	保育内容（人間関係の指導Ⅰ）	2前		1				1			
	保育内容（人間関係の指導Ⅱ）	2後		1				1			
	保育内容（環境の指導）	2前		1		1					
	保育内容（音楽表現の指導Ⅰ）	2前		1		1					
	保育内容（音楽表現の指導Ⅱ）	2後		1		1					
	保育内容（美術表現の指導Ⅰ）	2前		1			1				
	保育内容（美術表現の指導Ⅱ）	2後		1			1				
	子どもの食と栄養Ⅰ	1前		1							1
	子どもの食と栄養Ⅱ	1後		1							1
	乳児保育Ⅰ	1前		1							1
	乳児保育Ⅱ	1後		1							1
	保育実習指導Ⅰ-A	2通		1		2	3	1	1	1	
	保育実習指導Ⅰ-B	2通		1		2	2		1	1	1
	保育実習Ⅰ-A	2通		2		2	3	1	1	1	
	保育実習Ⅰ-B	2通		2		2	2		1	1	1
	保育実習指導Ⅱ	2後		1		2	3	1	1	1	
	保育実習Ⅱ	2後		2		2	3	1	1	1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3通		1		2					
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3通		1		2					
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4前		1		2					
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	3通		1		2					
ソーシャルワーク実習Ⅱ	3通		3		2						
幼児教育実習指導	3前~4前		1		2	3	1	1	1	1	
幼児教育実習Ⅰ	3後		2		2	3	1	1	1	1	
幼児教育実習Ⅱ	4前		2		2	3	1	1	1	1	
早期現場体験指導	1後		1		2	3	1	1	1		
早期現場体験	1後		1		2	3	1	1	1		
教育関係法規	2後		2					1			
教育情報機器演習	2後		2							1	
保育・教職実践演習（幼稚園）	4後		2		1	2	1	1			
ジェンダー	4後		2							1	
海外文化・福祉事情	1後		2							4	
国際福祉政策	4前		2							1	
基礎ゼミⅠ	3前		1		3	2	1				
基礎ゼミⅡ	3後		1		3	2	1				
卒業研究ゼミⅠ	4前		1		3	2	1				
卒業研究ゼミⅡ	4後		1		3	2	1				
福祉総合学習	4前		2		1			1			
福祉総合演習	4後		1		1			1			
卒業論文	4通		4		3	2	1				
小計（91科目）	—		34	106	0	5	3	1	2	1	28
留学生科目	日本語Ⅰ	1前		2							1
	日本語Ⅱ	1後		2							1
	日本語Ⅲ	2前		2							1
	言葉と文化（日本語）Ⅰ	2後		1							1
	言葉と文化（日本語）Ⅱ	3前		1							1
	小計（5科目）	—		0	8	0	0	0	0	0	0
合計（182科目）	—		58	222	0	5	3	1	2	1	46

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門展開科目	母子保健	2後		2							1
	子どもの保健Ⅰ	1後		2							1
	子どもの保健Ⅱ	2前		1							1
	障害児保育	2前		2							1
	障害児保育演習Ⅰ	2前		1							1
	障害児保育演習Ⅱ	2後		1							1
	生活支援技術Ⅰ	3前		2							1
	手話	4前		1							1
	点字	4前		1							1
	保育内容（健康の指導Ⅰ）	2前		1							1
	保育内容（健康の指導Ⅱ）	2後		1							1
	保育内容（言葉の指導Ⅰ）	1後		1					1	1	
	保育内容（言葉の指導Ⅱ）	2前		1					1	1	
	保育内容（人間関係の指導Ⅰ）	2前		1					1		
	保育内容（人間関係の指導Ⅱ）	2後		1					1		
	保育内容（環境の指導）	2前		1		0					1
	保育内容（音楽表現の指導Ⅰ）	2前		1		1					
	保育内容（音楽表現の指導Ⅱ）	2後		1		1					
	保育内容（美術表現の指導Ⅰ）	2前		1			1				
	保育内容（美術表現の指導Ⅱ）	2後		1			1				
	子どもの食と栄養Ⅰ	1前		1							1
	子どもの食と栄養Ⅱ	1後		1							1
	乳児保育Ⅰ	1前		1					1		0
	乳児保育Ⅱ	1後		1					1		0
	保育実習指導Ⅰ-A	2通		1		2	4	1	2	0	
	保育実習指導Ⅰ-B	2通		1		2	3		2	0	1
	保育実習Ⅰ-A	2通		2		2	4	1	2	0	
	保育実習Ⅰ-B	2通		2		2	3		2	0	1
	保育実習指導Ⅱ	2後		1		2	4	1	2	0	
	保育実習Ⅱ	2後		2		2	4	1	2	0	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3通		1		2					
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3通		1		2					
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4前		1		2					
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	3通		1		2					
ソーシャルワーク実習Ⅱ	3通		3		2						
幼児教育実習指導	3前~4前		1		2	4	1	2	0	0	
幼児教育実習Ⅰ	3後		2		2	4	1	2	0	0	
幼児教育実習Ⅱ	4前		2		2	4	1	2	0	0	
早期現場体験指導	1後		1		2	4	1	2	0		
早期現場体験	1後		1		2	4	1	2	0		
教育関係法規	2後		2					1		1	
教育情報機器演習	2後		2							1	
保育・教職実践演習（幼稚園）	4後		2		1	2	1	2			
ジェンダー	4後		2							1	
海外文化・福祉事情	1後		2							4	
国際福祉政策	4前		2							1	
基礎ゼミⅠ	3前		1		3	2	1				
基礎ゼミⅡ	3後		1		3	2	1				
卒業研究ゼミⅠ	4前		1		3	2	1				
卒業研究ゼミⅡ	4後		1		3	2	1				
福祉総合学習	4前		2		1			1			
福祉総合演習	4後		1		1			1			
卒業論文	4通		4		3	2	1				
小計（91科目）	—		34	106	0	4	4	1	3	0	30
留学生科目	日本語Ⅰ	1前		2							1
	日本語Ⅱ	1後		2							1
	日本語Ⅲ	2前		2							1
	言葉と文化（日本語）Ⅰ	2後		1							1
	言葉と文化（日本語）Ⅱ	3前		1							1
	小計（5科目）	—		0	8	0	0	0	0	0	0
合計（182科目）	—		61	219	0	5	4	1	3	0	48

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。  
 （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

教職課程認定申請に係る指摘対応の理由により、以下のとおり変更。

- ・ 科目名称について、「保育課程論」から「教育課程論」に変更、「教育関係法規」から「教育制度論」に変更。
- ・ 履修方法について、「器楽Ⅰ」、「器楽Ⅱ」及び「器楽Ⅲ」を「選択」から「必修」に変更。
- ・ 配当年次について、「幼児教育者論」を「1後」から「1前」に変更。
- ・ 「保育内容（言葉の指導Ⅰ）」を「1前」から「1後」に変更。
- ・ 「保育内容（言葉の指導Ⅱ）」を「1後」から「2前」に変更。
- ・ 専任教員等の配置について、「幼児教育原理」を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・ 「教育課程論」を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・ 「保育内容（環境の指導）」を「教授1」から「教授0」に変更し「兼0」を「兼1」に変更。
- ・ 助教1人を追加し助手1人を削除したことに伴い、「保育実習指導Ⅰ-A」、「保育実習指導Ⅰ-B」、「保育実習Ⅰ-A」、「保育実習Ⅰ-B」、「保育実習指導Ⅱ」、「保育実習Ⅱ」、「幼児教育実習指導」、「幼児教育実習Ⅰ」、「幼児教育実習Ⅱ」、「早期現場体験指導」及び「早期現場体験」を「助教1」から「助教2」に変更し「助手1」から「助手0」に変更。
- ・ 「学習方法演習Ⅰ」、「学習方法演習Ⅱ」、「基礎演習Ⅰ」及び「基礎演習Ⅱ」を「助教2」から「助教3」に変更。
- ・ 「保育内容（言葉の指導Ⅰ）」及び「保育内容（言葉の指導Ⅱ）」を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 「保育・教職実践演習（幼稚園）」を「助教1」から「助教2」に変更。

教育体制充実の理由により、以下のとおり変更。

- ・ 専任教員の配置について、准教授1人を追加したことに伴い、「子どもと文化」、「保育方法論」、「保育相談支援」、「乳児保育Ⅰ」、「乳児保育Ⅱ」、「幼児教育実習指導」、「幼児教育実習Ⅰ」及び「幼児教育実習Ⅱ」を「准教授3」から「准教授4」に変更し「兼1」から「兼0」に変更。
- ・ 「保育実習指導Ⅰ-A」、「保育実習Ⅰ-A」、「保育実習指導Ⅱ」、「保育実習Ⅱ」、「早期現場体験指導」及び「早期現場体験」を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・ 「保育実習指導Ⅰ-B」及び「保育実習Ⅰ-B」を「准教授2」から「准教授3」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
40	142	0	182	43	139	0	182	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[ 3 ]	[ Δ3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	金城大学短期大学部 (必要面積7,000.00 ㎡)と共用 借用面積: 2,239.40㎡ 借用期間: 50年		
	校 舎 敷 地	2,239.40 ㎡	84,439.00 ㎡	0 ㎡	86,678.40 ㎡			
	運 動 場 用 地	0 ㎡	18,379.00 ㎡	0 ㎡	18,379.00 ㎡			
	小 計	2,239.40 ㎡	102,818.00 ㎡	0 ㎡	105,057.40 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	8,935.00 ㎡	1,978.00 ㎡	10,913.00 ㎡			
	合 計	2,239.40 ㎡	111,753.00 ㎡	1,978.00 ㎡	115,970.40 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	18,602.44 ㎡	2,929.48 ㎡	8,911.94 ㎡	30,443.86 ㎡	金城大学短期大学部 (必要面積5,450.00 ㎡)と共用		
	(18,602.44 ㎡)	(2,929.48 ㎡)	(8,911.94 ㎡)	(30,443.86 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	36 室	演 習 室	21 室	実験実習室	16 室	大学全体	
					情報処理学習施設	1 室		語学学習施設
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	子ども福祉学科			11 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	金城大学短期大学部と の共用分を含む全体 図書111,563冊 〔10,187冊〕 学術雑誌342種 視聴覚資料1,729点 〔418点〕 教育環境の向上等を考 え見直したため(30)
	社会福祉学部 子ども福祉学科	9,029 [145] (8,728 [140]) ( <del>8,429 [140]</del> )	28 [6] (28 [6])	0 [0] (0 [0])	215 (218) ( <del>212</del> )	650 (602) ( <del>587</del> )	0 (0)	
	計	9,029 [145] (8,728 [140]) ( <del>8,429 [140]</del> )	28 [6] (28 [6])	0 [0] (0 [0])	215 (218) ( <del>212</del> )	650 (602) ( <del>587</del> )	0 (0)	
(6) 図 書 館	面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		金城大学短期大学部と 共用 笠間キャンパス: 673.93㎡、 閲覧席212席 松任キャンパス: 114.30㎡、 閲覧席32席	
	788.23 ㎡		244 席		83,000 冊			
(7) 体 育 館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	2,722.39 ㎡		テニスコート7面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体 図書費に電子ジャーナル、データベースの整備費(運用コスト等を含む)を含む 教育環境の向上等を考 え見直したため(30)
	教員1人当たり研究費等	500千円	500千円	図書購入費	611 -500千円	500千円	500千円	
	共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	9,687 +0,000千円	500千円	500千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,210千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	- 千円	- 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、私立大学経常費補助金収入、資産運用収入等で充当						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	金城大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<b>社会福祉学部</b>									
社会福祉学科	4	90	3年次 <sub>5</sub>	370	学士 (社会福祉学)	0.79	平成12年度	石川県白山市笠間町1200番地	
子ども福祉学科	4	70	3年次 <sub>5</sub>	290	学士 (子ども福祉学)	1.00	平成30年度	同上	平成30年度学科設置
<b>医療健康学部</b>									
理学療法学科	4	60	—	240	学士 (理学療法学)	1.08	平成19年度	同上	
作業療法学科	4	30	—	120	学士 (作業療法学)	0.92	平成25年度	同上	
<b>看護学部看護学科</b>	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.11	平成27年度	石川県白山市笠間町1200番地及び 石川県白山市倉光1丁目250番地	平成27年度学部設置
<b>大学院</b>									
総合リハビリテーション学研究科									
総合リハビリテーション学専攻	2	5	—	10	修士 (リハビリテーション学)	0.80	平成27年度	同上	平成29年度名称変更
大学の名称	金城大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
幼児教育学科	2	150	—	300	短期大学士 (幼児教育)	0.91	昭和51年度	石川県白山市笠間町1200番地	
美術学科	2	65	—	130	短期大学士 (美術)	0.92	昭和51年度	同上	
ビジネス実務学科	2	135	—	270	短期大学士 (ビジネス実務)	0.89	昭和59年度	同上	
留学生別科	1	20	—	20		0.10	平成16年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については，必ず記入するとともに，下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<社会福祉学部 子ども福祉学科>

(1) -① 担当教員表

【届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	永原 朗子 <平成30年4月> ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 子どもと生活 保育内容(環境の指導)	専	教授	永原 朗子 <平成30年4月> ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 子どもと生活
専	教授	中 磯子 <平成30年4月> 器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ 音楽 保育内容(音楽表現の指導Ⅰ) 保育内容(音楽表現の指導Ⅱ) 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-B 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験 保育・教職実践演習(幼稚園) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文	専	教授	中 磯子 <平成30年4月> 器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ 音楽 保育内容(音楽表現の指導Ⅰ) 保育内容(音楽表現の指導Ⅱ) 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-B 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験 保育・教職実践演習(幼稚園) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文
専	教授	杉山 正樹 <平成30年4月> ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 福祉総合学習 福祉総合演習 卒業論文	専	教授	杉山 正樹 <平成30年4月> ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 福祉総合学習 福祉総合演習 卒業論文
専	教授	側垣 順子 <平成30年4月> ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ 相談援助 家庭支援論 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-B ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文	専	教授	側垣 順子 <平成30年4月> ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ 相談援助 家庭支援論 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-B ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	松下 高信 <平成30年4月>	専	教授	松下 高信 <平成30年4月>
		スポーツ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 幼児体育Ⅰ 幼児体育Ⅱ 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-A 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験			スポーツ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 幼児体育Ⅰ 幼児体育Ⅱ 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-A 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験
専	准教授	三谷 靖子 <平成30年4月>	専	准教授	三谷 靖子 <平成30年4月>
		学習方法演習Ⅰ 学習方法演習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-B 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験			学習方法演習Ⅰ 学習方法演習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-B 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験
専	准教授	永坂 晃子 <平成30年4月>	専	准教授	永坂 晃子 <平成30年4月>
		美術 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 保育内容(美術表現の指導Ⅰ) 保育内容(美術表現の指導Ⅱ) 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-B 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験 保育・教職実践演習(幼稚園) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文			美術 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 保育内容(美術表現の指導Ⅰ) 保育内容(美術表現の指導Ⅱ) 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-B 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験 保育・教職実践演習(幼稚園) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文
専	准教授	齋藤 修啓 <平成30年4月>	専	准教授	齋藤 修啓 <平成30年4月>
		幼児教育者論 幼児教育原理 保育課程論 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-A 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験 保育・教職実践演習(幼稚園) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文			幼児教育者論 幼児教育原理 <b>教育課程論</b> 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-A 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験 保育・教職実践演習(幼稚園) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	金城 智代 <平成30年4月>	専	講師	金城 智代 <平成30年4月>
		保育原理Ⅰ 保育原理Ⅱ 保育の心理学 保育内容(言葉の指導Ⅰ) 保育内容(言葉の指導Ⅱ) 保育内容(人間関係の指導Ⅰ) 保育内容(人間関係の指導Ⅱ) 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-A 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験 保育・教職実践演習(幼稚園) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文			保育原理Ⅰ 保育原理Ⅱ 保育の心理学 保育内容(言葉の指導Ⅰ) 保育内容(言葉の指導Ⅱ) 保育内容(人間関係の指導Ⅰ) 保育内容(人間関係の指導Ⅱ) 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-A 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験 保育・教職実践演習(幼稚園) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文
専	助教	岡野 大輔 <平成30年4月>	専	助教	岡野 大輔 <平成30年4月>
		学習方法演習Ⅰ 学習方法演習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 法学(憲法)Ⅰ 法学Ⅱ 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 公的扶助論 権利擁護と成年後見 教育関係法規 福祉総合学習 福祉総合演習			学習方法演習Ⅰ 学習方法演習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 法学(憲法)Ⅰ 法学Ⅱ 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 公的扶助論 権利擁護と成年後見 <b>教育制度論</b> 福祉総合学習 福祉総合演習
専	助教	枝村 美夏 <平成30年4月>	専	助教	枝村 美夏 <平成30年4月>
		学習方法演習Ⅰ 学習方法演習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-B 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験 保育・教職実践演習(幼稚園)			学習方法演習Ⅰ 学習方法演習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-B 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験 保育・教職実践演習(幼稚園)
			専	准教授	福屋 雅子 <平成30年4月>
					子どもと文化 保育方法論 保育相談支援 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-B 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	高島 利一 <平成31年4月> 医学一般 公衆衛生学
兼任	教授	平澤 元章 <平成32年4月> レクリエーション活動Ⅰ レクリエーション活動Ⅱ 健康科学
兼任	教授	北湯 克輔 <平成32年10月> 経済学Ⅰ 経済学Ⅱ
兼任	教授	福永 肇 <平成33年4月> 政治学
兼任	教授	下村 有子 <平成30年10月> 情報処理演習Ⅱ 海外文化・福祉事情
兼任	教授	蘇 哲 <平成30年10月> 言葉と文化(中国語)Ⅰ 言葉と文化(中国語)Ⅱ 言葉と文化(中国語)Ⅲ 言葉と文化(中国語)Ⅳ 東洋史 海外文化・福祉事情
兼任	教授	岡森 正吾 <平成31年4月> 就労支援 更生保護 障害児保育 障害児保育演習Ⅰ 障害児保育演習Ⅱ
兼任	教授	加納 宏志 <平成30年4月> 日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 文書処理演習 海外文化・福祉事情
兼任	教授	奥田 裕紀 <平成31年4月> 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 幼児教育心理学 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-B
兼任	教授	山根 淳子 <平成32年4月> 介護福祉論Ⅰ 介護福祉論Ⅱ 生活支援技術Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		<b>岡部 智子</b> <平成30年4月> 学習方法演習Ⅰ 学習方法演習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 保育内容(営業の指導Ⅰ) 保育内容(営業の指導Ⅱ) 保育実習指導Ⅰ-A 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-A 保育実習Ⅰ-B 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 幼児教育実習指導 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習Ⅱ 早期現場体験指導 早期現場体験 保育・教職実践演習(幼稚園)
兼任	教授	高島 利一 <平成31年4月> 医学一般 公衆衛生学
兼任	教授	平澤 元章 <平成32年4月> レクリエーション活動Ⅰ レクリエーション活動Ⅱ 健康科学
兼任	教授	北湯 克輔 <平成32年10月> 経済学Ⅰ 経済学Ⅱ
兼任	教授	福永 肇 <平成33年4月> 政治学
兼任	教授	下村 有子 <平成30年10月> 情報処理演習Ⅱ 海外文化・福祉事情
兼任	教授	蘇 哲 <平成30年10月> 言葉と文化(中国語)Ⅰ 言葉と文化(中国語)Ⅱ 言葉と文化(中国語)Ⅲ 言葉と文化(中国語)Ⅳ 東洋史 海外文化・福祉事情
兼任	教授	岡森 正吾 <平成31年4月> 就労支援 更生保護 障害児保育 障害児保育演習Ⅰ 障害児保育演習Ⅱ
兼任	教授	加納 宏志 <平成30年4月> 日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 文書処理演習 海外文化・福祉事情
兼任	教授	奥田 裕紀 <平成31年4月> 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 幼児教育心理学 保育実習指導Ⅰ-B 保育実習Ⅰ-B
兼任	教授	山根 淳子 <平成32年4月> 介護福祉論Ⅰ 介護福祉論Ⅱ 生活支援技術Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	柴田 紀子 <平成32年4月>
		人文地理 ソーシャルワーク論 V ソーシャルワーク論 VI
兼任	教授	森 啓至 <平成32年10月>
		生命科学 生理学
兼任	教授	川邊 弘之 <平成30年10月>
		情報処理演習 I 自然科学 教育情報機器演習
兼任	教授	内 慶瑞 <平成30年4月>
		ポランティア入門 宗教学 ソーシャルワーク論 III ソーシャルワーク論 IV
兼任	教授	竹腰 敦 <平成30年4月>
		英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 言葉と文化 (英語) I 言葉と文化 (英語) II 言葉と文化 (英語) III 言葉と文化 (英語) IV
兼任	准教授	桶屋 雅子 <平成30年4月>
		子どもと文化 保育方法論 保育相談支援 乳児保育 I 乳児保育 II 幼児教育実習指導 幼児教育実習 I 幼児教育実習 II
兼任	准教授	岡村 綾子 <平成32年10月>
		医療福祉論 国際福祉政策
兼任	准教授	高島 智世 <平成30年4月>
		社会学 社会調査 ジェンダー
兼任	准教授	元村 智明 <平成30年4月>
		社会福祉概論 I 社会福祉概論 II 社会福祉史 ソーシャルワーク演習 I 海外文化・福祉事情
兼任	講師	木村 剛 <平成33年4月>
		統計学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	柴田 紀子 <平成32年4月>
		人文地理 ソーシャルワーク論 V ソーシャルワーク論 VI
兼任	教授	森 啓至 <平成32年10月>
		生命科学 生理学
兼任	教授	川邊 弘之 <平成30年10月>
		情報処理演習 I 自然科学 教育情報機器演習
兼任	教授	内 慶瑞 <平成30年4月>
		ポランティア入門 宗教学 ソーシャルワーク論 III ソーシャルワーク論 IV
兼任	教授	竹腰 敦 <平成30年4月>
		英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 言葉と文化 (英語) I 言葉と文化 (英語) II 言葉と文化 (英語) III 言葉と文化 (英語) IV
専任	准教授	桶屋 雅子 <平成30年4月>
		※前掲の通り
兼任	准教授	岡村 綾子 <平成32年10月>
		医療福祉論 国際福祉政策
兼任	准教授	高島 智世 <平成30年4月>
		社会学 社会調査 ジェンダー
兼任	准教授	元村 智明 <平成30年4月>
		社会福祉概論 I 社会福祉概論 II 社会福祉史 ソーシャルワーク演習 I 海外文化・福祉事情
兼任	講師	木村 剛 <平成33年4月>
		統計学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	西 都代子 <平成31年10月> 地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ 福祉行政と福祉計画 ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ
		野村 智宏 <平成30年4月> 教養ゼミⅠ 教養ゼミⅡ 高齢者福祉論 障害者福祉論
兼任	講師	濱東 千恵美 <平成30年4月> 心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ 人格心理学 カウンセリングⅠ カウンセリングⅡ
		和泉 洋成 <平成30年10月> 児童・家庭福祉論
兼任	講師	竹内 恵子 <平成31年4月> 保育内容(健康の指導Ⅰ) 保育内容(健康の指導Ⅱ)
		塩谷 芳子 <平成33年4月> 点字
兼任	講師	丸田 和夫 <平成32年4月> リハビリテーション論
		上馬 康生 <平成32年4月> 白山市の自然と文化
兼任	講師	川上 芳雄 <平成31年10月> 社会福祉施設経営論 ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ
		水上 和子 <平成30年10月> 器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ
兼任	講師	朝倉 喜裕 <平成30年10月> 器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ
		井上 好美 <平成30年4月> 子どもの食と栄養Ⅰ 子どもの食と栄養Ⅱ
兼任	講師	岡田 優子 <平成30年4月> 保育者論 保育内容総論
		佐道 寛 <平成30年4月> 社会的養護 社会的養護内容

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	西 都代子 <平成31年10月> 地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ 福祉行政と福祉計画 ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ
		野村 智宏 <平成30年4月> 教養ゼミⅠ 教養ゼミⅡ 高齢者福祉論 障害者福祉論
兼任	講師	濱東 千恵美 <平成30年4月> 心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ 人格心理学 カウンセリングⅠ カウンセリングⅡ
		和泉 洋成 <平成30年10月> 児童・家庭福祉論
兼任	講師	竹内 恵子 <平成31年4月> 保育内容(健康の指導Ⅰ) 保育内容(健康の指導Ⅱ)
		塩谷 芳子 <平成33年4月> 点字
兼任	講師	丸田 和夫 <平成32年4月> リハビリテーション論
		上馬 康生 <平成32年4月> 白山市の自然と文化
兼任	講師	川上 芳雄 <平成31年10月> 社会福祉施設経営論 ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ
		水上 和子 <平成30年10月> 器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ
兼任	講師	朝倉 喜裕 <平成30年10月> 器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ
		井上 好美 <平成30年4月> 子どもの食と栄養Ⅰ 子どもの食と栄養Ⅱ
兼任	講師	岡田 優子 <平成30年4月> 保育者論 保育内容総論
		佐道 寛 <平成30年4月> 社会的養護 社会的養護内容

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	Gart Thomas Westerhout <平成31年4月>	兼任	講師	Gart Thomas Westerhout <平成31年4月>
		教養ゼミⅢ			教養ゼミⅢ
兼任	講師	喜多 里美 <平成33年4月>	兼任	講師	喜多 里美 <平成33年4月>
		手話			手話
兼任	講師	三宅 浩史 <平成32年4月>	兼任	講師	三宅 浩史 <平成32年4月>
		哲学			哲学
兼任	講師	百海 智 <平成30年10月>	兼任	講師	百海 智 <平成30年10月>
		スポーツ理論			スポーツ理論
兼任	講師	熊田 キャロリン <平成30年4月>	兼任	講師	熊田 キャロリン <平成30年4月>
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ			英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ
兼任	講師	田中 俊之 <平成33年4月>	兼任	講師	田中 俊之 <平成33年4月>
		西洋史			西洋史
兼任	講師	和田 康一郎 <平成30年10月>	兼任	講師	和田 康一郎 <平成30年10月>
		日本文学Ⅰ 日本文学Ⅱ 日本語表現			日本文学Ⅰ 日本文学Ⅱ 日本語表現
兼任	講師	川邊 美香 <平成30年10月>	兼任	講師	川邊 美香 <平成30年10月>
		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ			器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ
兼任	講師	長尾 紀久子 <平成32年4月>	兼任	講師	長尾 紀久子 <平成32年4月>
		幼児理解と教育相談			幼児理解と教育相談
兼任	講師	青木 賢人 <平成33年4月>	兼任	講師	青木 賢人 <平成33年4月>
		自然地理 地誌			自然地理 地誌
兼任	講師	奥村 澄 <平成30年10月>	兼任	講師	奥村 澄 <平成30年10月>
		母子保健 子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ			母子保健 子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	王 迪 <平成30年4月>	兼任	講師	王 迪 <平成30年4月>
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 言葉と文化(日本語)Ⅰ 言葉と文化(日本語)Ⅱ			日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 言葉と文化(日本語)Ⅰ 言葉と文化(日本語)Ⅱ
			兼任	講師	和泉 美智枝 <平成31年10月>
					教育制度論
			兼任	講師	村上 知子 <平成30年4月>
					幼児教育原理 保育内容(環境の指導)

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成して  
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**  
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。  
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

**【平成30年度】**

- ・教職課程認定申請に係る指摘対応の理由により、永原朗子教授の担当科目「保育内容（環境の指導）」を削除。
- ・教職課程認定申請に係る指摘対応の理由により、斎藤修啓准教授の担当科目「保育課程論」の科目名称を「教育課程論」に変更。
- ・教職課程認定申請に係る指摘対応の理由により、岡野大輔助教の担当科目「教育関係法規」の科目名称を「教育制度論」に変更。
- ・教育体制充実の理由により、兼任予定教員であった桶屋雅子准教授が平成30年4月に専任教員として就任し、担当科目「保育実習指導Ⅰ-A」「保育実習指導Ⅰ-B」「保育実習Ⅰ-A」「保育実習Ⅰ-B」「保育実習指導Ⅱ」「保育実習Ⅱ」「早期現場体験指導」「早期現場体験」を追加。
- ・教職課程認定申請に係る指摘対応の理由により、岡部智子助教が平成30年4月に専任教員として就任し、「学習方法演習Ⅰ」「学習方法演習Ⅱ」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「保育内容（言葉の指導Ⅰ）」「保育内容（言葉の指導Ⅱ）」「保育実習指導Ⅰ-A」「保育実習指導Ⅰ-B」「保育実習Ⅰ-A」「保育実習Ⅰ-B」「保育実習指導Ⅱ」「保育実習Ⅱ」「幼児教育実習指導」「幼児教育実習Ⅰ」「幼児教育実習Ⅱ」「早期現場体験指導」「早期現場体験」「保育・教職実践演習（幼稚園）」を担当。
- ・教職課程認定申請に係る指摘対応の理由により、平成31年10月に兼任教員の和泉美智子講師が就任し、「教育制度論」を担当予定。
- ・教職課程認定申請に係る指摘対応の理由により、平成30年4月に兼任予定教員の村上知子講師が就任し、「幼児教育原理」「保育内容（環境の指導）」を担当。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	教授	准教授	講師	助教	計（C）
5	3	1	2	11	5	4	1	3	13	5	4	1	3	13
(5)	(3)	(1)	(2)	(11)						[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 2 ]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
  - ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、**「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	3
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)} \div \text{設置時の計画(A)} = \frac{13}{11} = \boxed{118.18} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{1}{13} = \boxed{7.69} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。



## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成30年4月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<社会福祉学部 子ども福祉学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 企画調査委員会規程及び年次報告（別紙（添付資料1-1、1-2）のとおり）を添付</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 月1回（委員構成は、別紙（添付資料2）のとおり）開催し、毎回、校務出張等を除き、全ての委員が参加</p> <p>c 委員会の審議事項等 ・ FD研修会の企画・実施          ・ 公開授業の企画・実施          ・ 教育職員表彰制度の検討・実施 ・ 学生との意見交換会の企画・実施          他</p> <p>② 実施状況          ※組織改編前の社会福祉学部社会福祉学科こども専攻における開催状況</p> <p>a 実施内容 (企画調査委員会担当の取組) ・ FD研修会（例年4～6回程度）          ・ 公開授業（教員相互の授業参観）          ・ 教育職員表彰 ・ 学生との意見交換会</p> <p>(企画調査委員会以外の取組) ・ 学生による授業アンケート          ・ オフィスアワー          ・ 新任教職員研修</p> <p>b 実施方法 FD研修会については、講師を招請し、例年2～3回程度実施。オフィスアワー、公開授業、学生による授業アンケート（非常勤講師を含む。）は、各セメスター（前・後期）で実施。学生との意見交換会は年1回（学部別）実施している。また、新任教職員研修については、年1回、建学の精神、教育理念、歴史、大学を取り巻く環境等についての研修を行っている。</p>
---

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度、FD研修会については9回開催し、専任教員6～7割が参加。オフィスアワー、学生による授業アンケートについては、非常勤講師を含む全教員の全ての授業を対象に実施している。また、公開授業についても、非常勤講師を含む全教員を対象として前後期の全期間を公開授業期間とし、それぞれ重点期間を設けるなどして教員同士が授業の参観を実施している。教育職員表彰については、毎年、評価項目・基準の見直しを行うとともに、年度最終の教授会後に表彰をしている。また、新任教職員研修については、毎年、年度当初に新任の教職員を対象に実施している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生による授業アンケートについては、学内ホームページによる結果公開を行っている。公開授業については、参観者の増加及び参観者コメントの利用促進を図るなどして授業改善につなげている。平成29年度のFD研修では、高大接続に関する研修会や外部資金獲得に向けた研修会の他、平成25年度からの中央教育審議会の答申等も踏まえ、例年に引き続き授業改善等に直接役立つ方法や学習支援方策等に関する研修会を開催し、各教員が個々の授業、学生支援に活かしている。例年、組織レベル（管理者・組織レベル＝教育理念や学園の方針、制度政策や高等教育を含む社会情勢など）と個人レベル（教員個人レベル、授業・教授法レベルなど）の内容をバランス良く取り入れて実施している。さらに併設の高校、短大の教職員との合同FD・SD研修を開催するなどして授業改善、学生指導等に係る取組の改善を継続して実施し、組織的な教員の質的向上を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

上記にも記載した通り、学生による授業アンケートについては、毎年、前期（7月）、後期（1月）に実施（非常勤講師を含む。）している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

上記にも記載した通り、授業アンケートの結果について、教育職員に対しては教授会での全体報告に加え、教員個人向けの結果通知も行い、今後の授業改善等に役立つよう周知、活用している。また、学生等に対しては、学内ホームページを通じて随時結果を閲覧可能とし、意見等を述べられるよう体制を整備している。また、必要に応じて、適宜、学部長による面談等も行っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
別紙（添付資料3）のとおり
- ② 自己点検・評価報告書
  - a 公表（予定）時期
    - ・平成30年8月
  - b 公表方法
    - ・大学ホームページ上に公表
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・1回目の認証評価は、平成20年度に財団法人日本高等教育評価機構を受審しており、「同機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。また、2回目の認証評価は、平成27年度に同機構（現名称：公益財団法人日本高等教育評価機構）を受審し、「同機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されている。3回目の受審は平成34年度を計画しており、継続的に自己点検・評価を行っている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
  - a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
  - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 年 月 日 ) ※ 平成31年度中を予定

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。